



※出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2025」

事業計画及び成長可能性に関する事項

株式会社アドバンスト・メディア

2025年6月27日



Company Overview



※出典：合同会社 ecarlate 「音声認識市場動向 2025」



Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

設立	1997年12月10日
資本金	69億3031万円
発行株式数	18,392,724株
上場市場	東京証券取引所グロース市場（3773）
所在地	■本社 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 42階 ■大阪支社 大阪府大阪市西区立売堀1-3-11 ダイタイビル5階 ■名古屋営業所 愛知県名古屋市東区葵1-25-1 ニッシンビル302 ■福岡営業所 福岡県福岡市博多区博多駅前3-23-12 博多光和ビル2階
代表	代表取締役会長兼社長 鈴木清幸
従業員数	社員数 単体：239名（平均年齢37.4歳） 連結：265名

（2025年3月時点）



Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

“HCIの実現”

H=Human

C=Communication

I=Integration

アドバンスト・メディアは
「キカイ」との自然なコミュニケーションを
実現し豊かな未来を創造します

#音声認識で つくりたい未来へ

Philosophy



AmiVoice®

もしも、人とキカイが
自然な会話でつながる未来を
実現できるなら。

AI 音声認識 国内シェアNo.1*の
「AmiVoice®」があれば、
そんな楽しい世界だって、
きっと夢ではありません。

音声認識の力で、
ワクワクできる未来をあたりまえに。
私たちは、
アドバンスト・メディアです。



1. ビジネスモデル

事業の内容

当社グループ（当社および当社の関係会社）は、当社（株式会社アドバンスト・メディア）と連結子会社3社により構成されており、事業セグメントは、音声事業の単一セグメントであります。

音声事業

当社グループは、AI音声認識**AmiVoice**®を核とした下記の事業を展開しております。

- I. サービス事業 企業及び企業内のユーザーや一般消費者へAI音声認識アミボイスをサービス利用の形で提供する事業
- II. プロダクト事業 AI音声認識アミボイスを組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する事業
- III. ソリューション事業 AI音声認識アミボイスを組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う事業

なお、音声事業の単一セグメントは、**既存コアビジネスをBSR1（第一の成長エンジン）**、新規ビジネスの創生、M&A、海外事業を**BSR2（第二の成長エンジン）**と定義し、8のプロフィットユニットで構成されております。

第一の成長エンジン（既存コアビジネス）

当社のCTI事業部、VoXT事業部、医療事業部、SDX事業部の4つのプロフィットユニットで構成をしております。

第二の成長エンジン（新規ビジネスの創生、M&A、海外事業）

当社の海外事業部、BDC本部（含む株式会社アミサポ）、および連結子会社のAMIVOICE THAI CO., LTD.（タイ王国）、株式会社速記センターつくばの4つのプロフィットユニットで構成をしております。

製品・サービス内容①

	主な製品・サービス	主な顧客	サービス内容	
B S R 1	CTI事業部	AmiVoice Communication Suite AOI LLM for AmiVoice Communication Suite AmiVoice CQM Assist AmiVoice ISR Studio	コンタクトセンター	通話の全文リアルタイムテキスト化、管理者による複数通話同時モニタリング、感情解析、生成AIを活用した要約・VoC抽出などで応対品質向上を支援
	VoXT事業部	VoXT One (ScribeAssist、ProVoXT) CyberScribe	地方自治体、 各種民間企業	会議などの音声のテキスト化・生成AIによる要約を用いて、自治体・民間企業のRPA化を促進する議事録作成支援サービスを提供
	医療事業部	AmiVoice Ex7 AmiVoice iNote/iNote Lite AmiVoice CLx	病院、診療所、 放射線科、調剤薬局	電子カルテや読影レポートなど、各種医療文書の作成を音声認識で効率化し、医療現場のタスクシェアリング・働き方改革に貢献
	SDX事業部	AmiVoice Cloud Platform AmiVoice SalesBoost (AmiVoice SF-CMS、AmiVoice RolePlay) AmiVoice Keyboard AmiVoice VK/VM AmiVoice UPV	製造・物流・金融・製 薬等、各種民間企業	<ul style="list-style-type: none"> 音声認識機能をWebサイトやアプリケーションに実装できるAPI・開発キット 商談記録からロールプレイングまで、組織のセールスイネーブルメント向上を支援する商談解析ソリューション

製品・サービス内容②

		主な製品・サービス	主な顧客	サービス内容
B S R 2	海外事業部	台湾・香港・中国企業向け AmiVoice Cloud Platform	アジア圏の企業	台湾・香港・中国企業向け、音声認識APIの提供
	BDC本部	AmiVoice スーパーインスペクションプラットフォーム	建設・不動産業	建設現場における検査結果をはじめ、建築工程管理を支援する音声認識ソリューションを提供
	AMIVOICE THAI	タイ語版 AmiVoice Communication Suite	タイ現地の コンタクトセンター	自社開発のタイ語音声認識エンジンを活かした音声認識IVRや、コンタクトセンター向けソリューションをタイ全土に提供
	速記センターつくば	書き起こし・議事録作成業務	地方自治体、裁判所	自治体を中心に会議議事録作成を受託し、音声の書き起こし業務を提供
	アミサポ	建物品質検査サービス AmiVoice スーパースクライバー	建設・不動産業	AI音声認識を活用したアプリケーションを使いこなし「仕上げ検査」や「配筋検査」、議事録作成代行業務等を請け負う人材を提供

主要な製品・サービスの紹介①

AmiVoice® Communication Suite (CTI事業部)



コンタクトセンター向けAI音声認識ソリューション

豊富な機能でコールセンター業務を強力にサポートし、応対品質向上・顧客満足度向上・業務効率化・売上向上など、コンタクトセンターの課題を解決します。各業界に特化した高精度な音声認識エンジンをベースに企業それぞれのニーズに合わせて柔軟にカスタマイズすることも可能です。



VoXT One with AmiVoice® (VoXT事業部)



AI音声認識 文字起こし支援アプリケーション

Web会議や商談、会見等、対面・非対面の幅広いシーンで利用できるスタンドアローン型文字起こし支援アプリケーションと、インターネットに接続できれば、どこでも簡単にAI音声認識による文字起こしができるアプリケーションの両方をご利用いただけます。



AmiVoice® Ex7 (医療事業部)



話したら、即、入力。医療現場の記録をスピード作成

AmiVoice Ex7はマイクで話すだけで文章が作成できるソフトウェアです。医療の現場で必要とされる電子カルテへの入力、服薬指導や読影レポートの作成から診療情報提供書の準備まで、PCで行う様々な文章入力の負担を軽減します。



主要な製品・サービスの紹介②

AmiVoice® スーパーインスペクションプラットフォーム（BDC本部）



建築検査用の音声入力アプリ。AIが業者を自動振分け！

建築仕上げ検査、配筋検査、安全パトロール、内覧会用などの音声入力アプリ。指摘事項を発話して検査結果入力完了。AIが協力会社を自動振り分けし仕分け作業不要です。すでに100社以上でご利用いただいています。

AmiVoice® Cloud Platform（SDX事業部）

音声認識API・SDKを提供する開発プラットフォーム

AmiVoice 音声認識API・SDKの活用により、クライアントアプリケーションに特別なライブラリを組み込む事なく、音声認識機能を実装できます。音声文字化や音声対話、音声制御、音声翻訳等、アプリケーション、Webサイト等の各種サービスにご使用いただけます。

開発者向け

シェアNo.1の音声認識エンジンを
API・SDKで提供する

AmiVoice® Cloud Platform



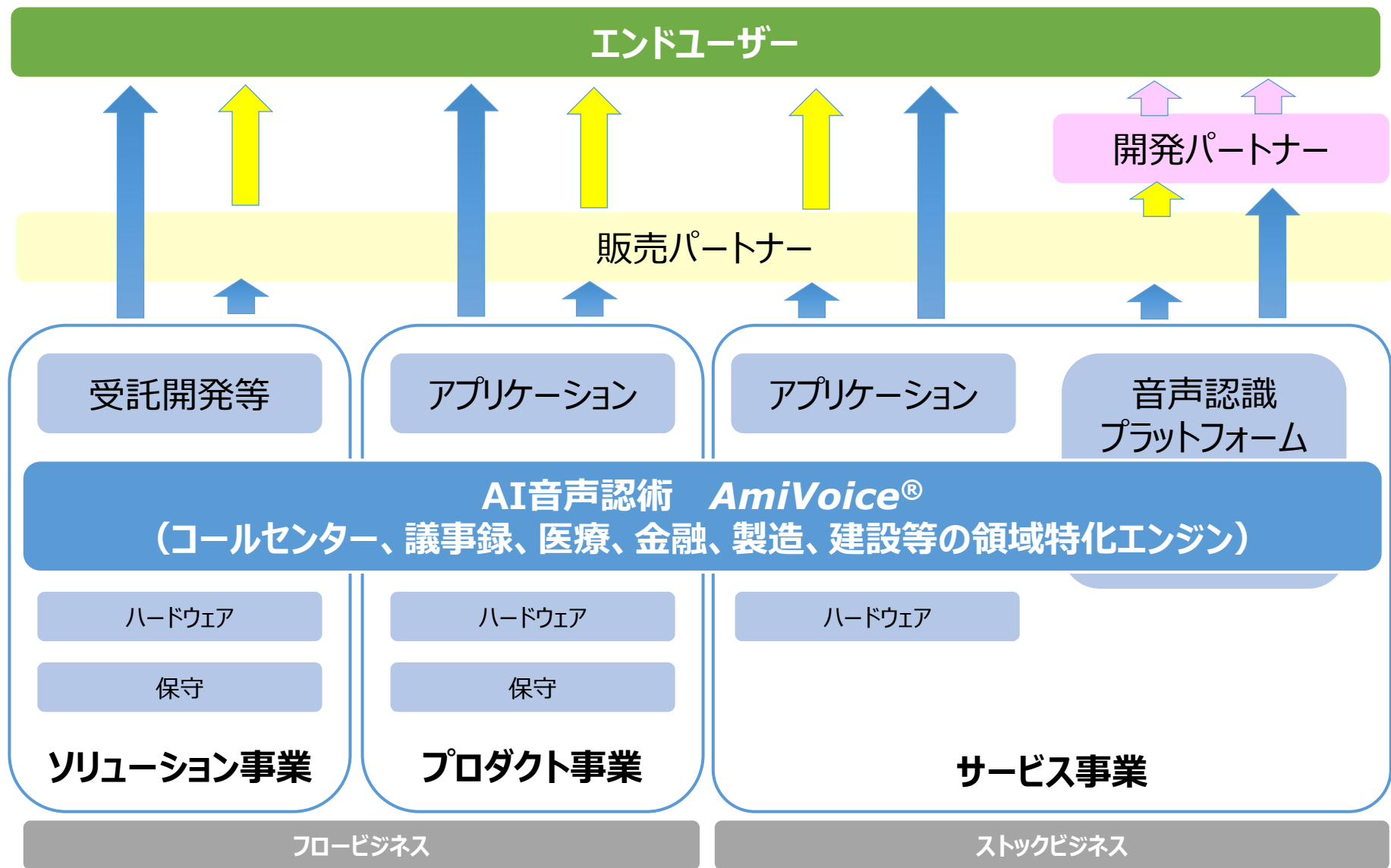
AmiVoice® Front WT01 (Bluetoothマイク)



AmiVoice® Front ST01 (スタンドマイク)



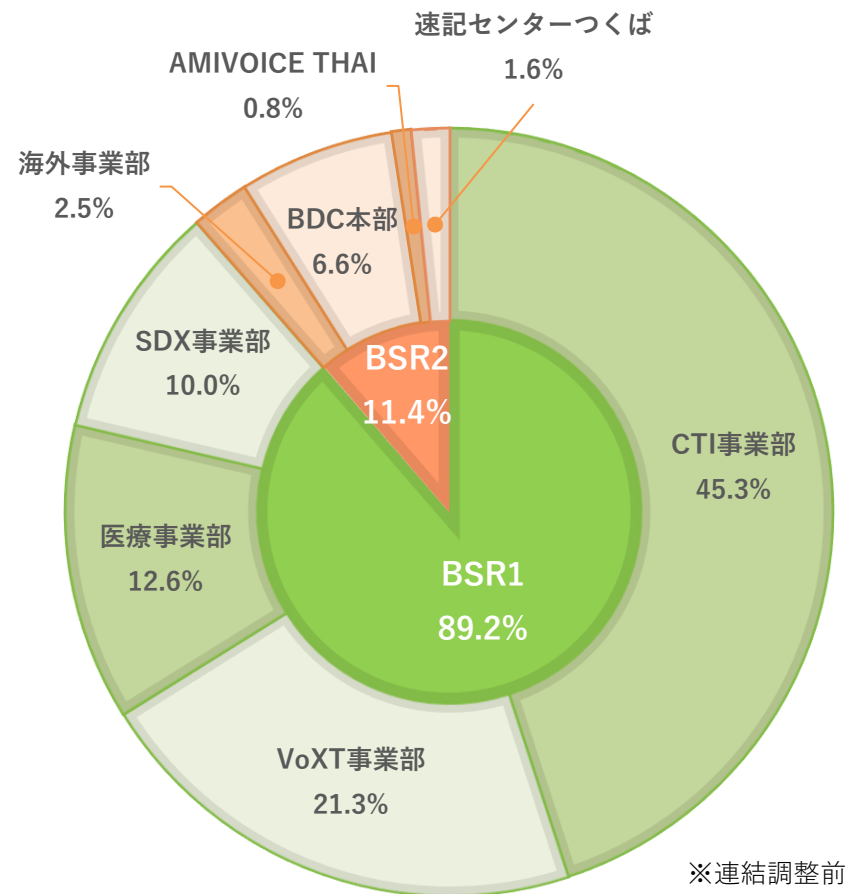
ビジネスモデル



分野別の実績（2025年3月期）

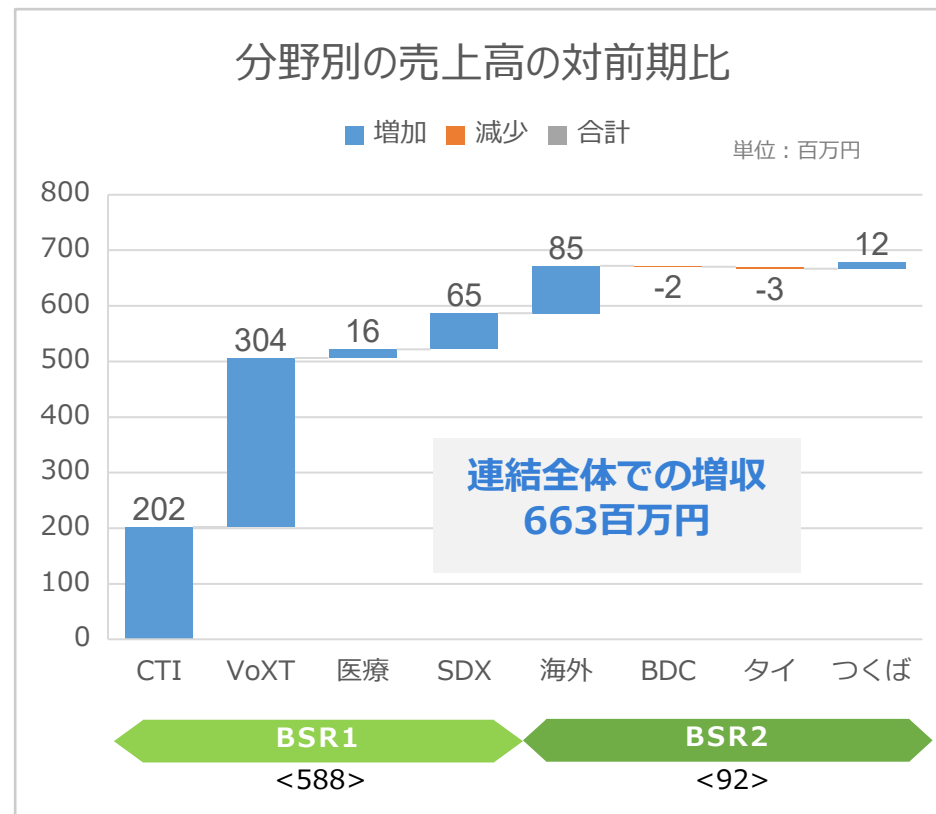
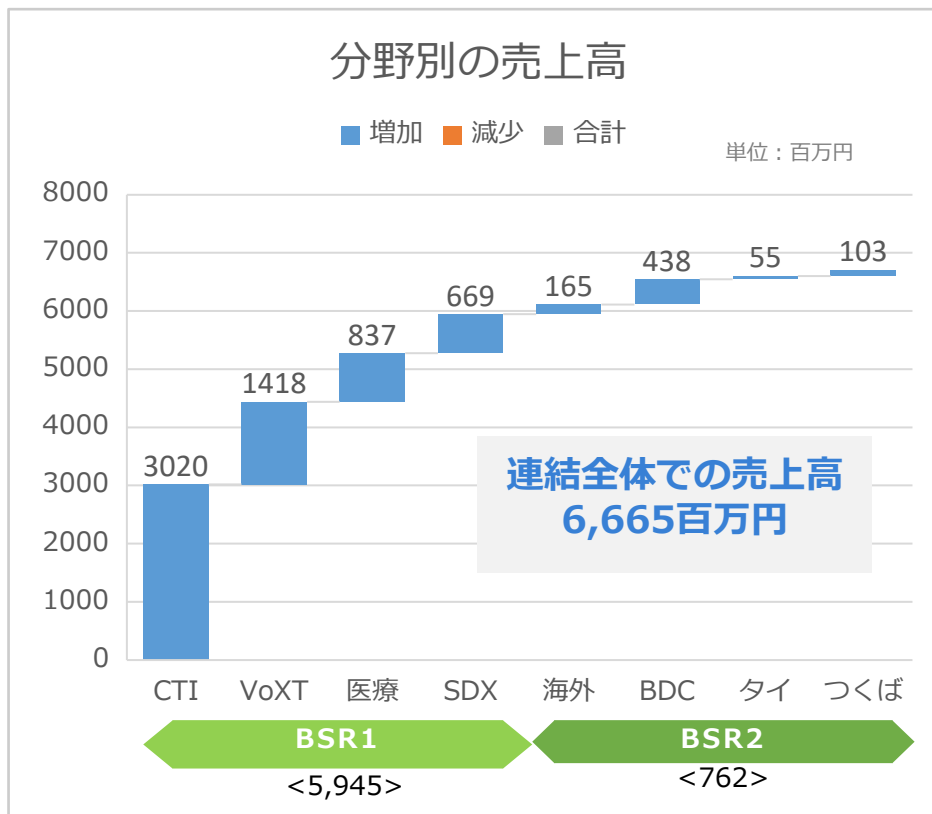
【売上比率】

		2025年3月期	2024年3月期
BSR1	CTI事業部	45.3%	46.9%
	VoXT事業部	21.3%	18.6%
	医療事業部	12.6%	13.7%
	SDX事業部	10.0%	10.1%
	合計	89.2%	89.3%
BSR2	海外事業部	2.5%	1.3%
	BDC本部（アミサポ）	6.6%	7.3%
	子連 会結 社 AMIVOICE THAI	0.8%	1.0%
	速記センターつくば	1.6%	1.5%
	合計	11.4%	11.2%
連結調整		-0.6%	-0.4%
合計		100.0%	100.0%



2025年3月期売上高の分析

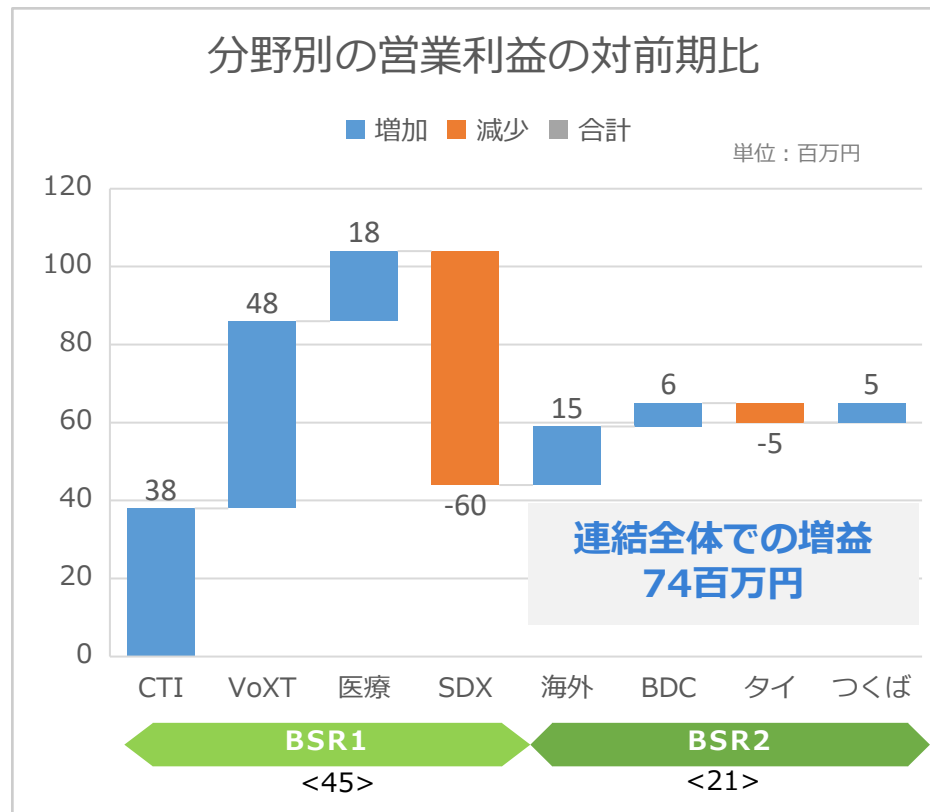
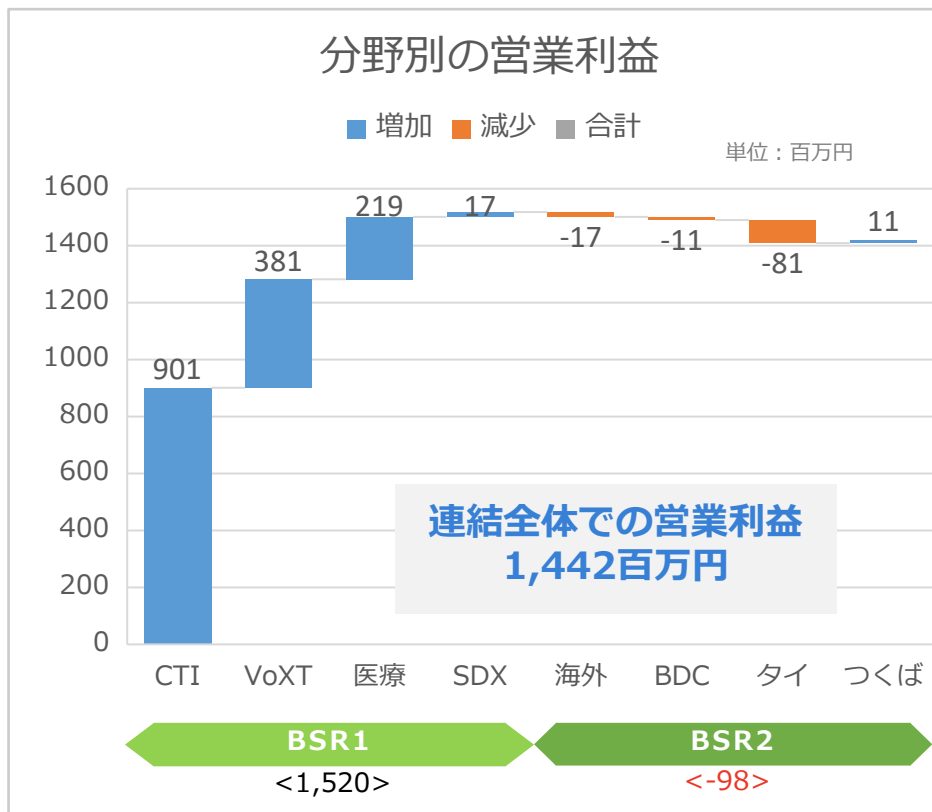
注) 連結調整前



BSR1 (第一の成長エンジン) 全ての事業部が増収し前年同期比11.0%増
BSR2 (第二の成長エンジン) 海外事業部が増収し前年同期比13.8%増
当社グループ全体では、前年同期比11.1%の増収で過去最高の売上高

2025年3月期営業利益の分析

注) 連結調整前



BSR1 (第一の成長エンジン)

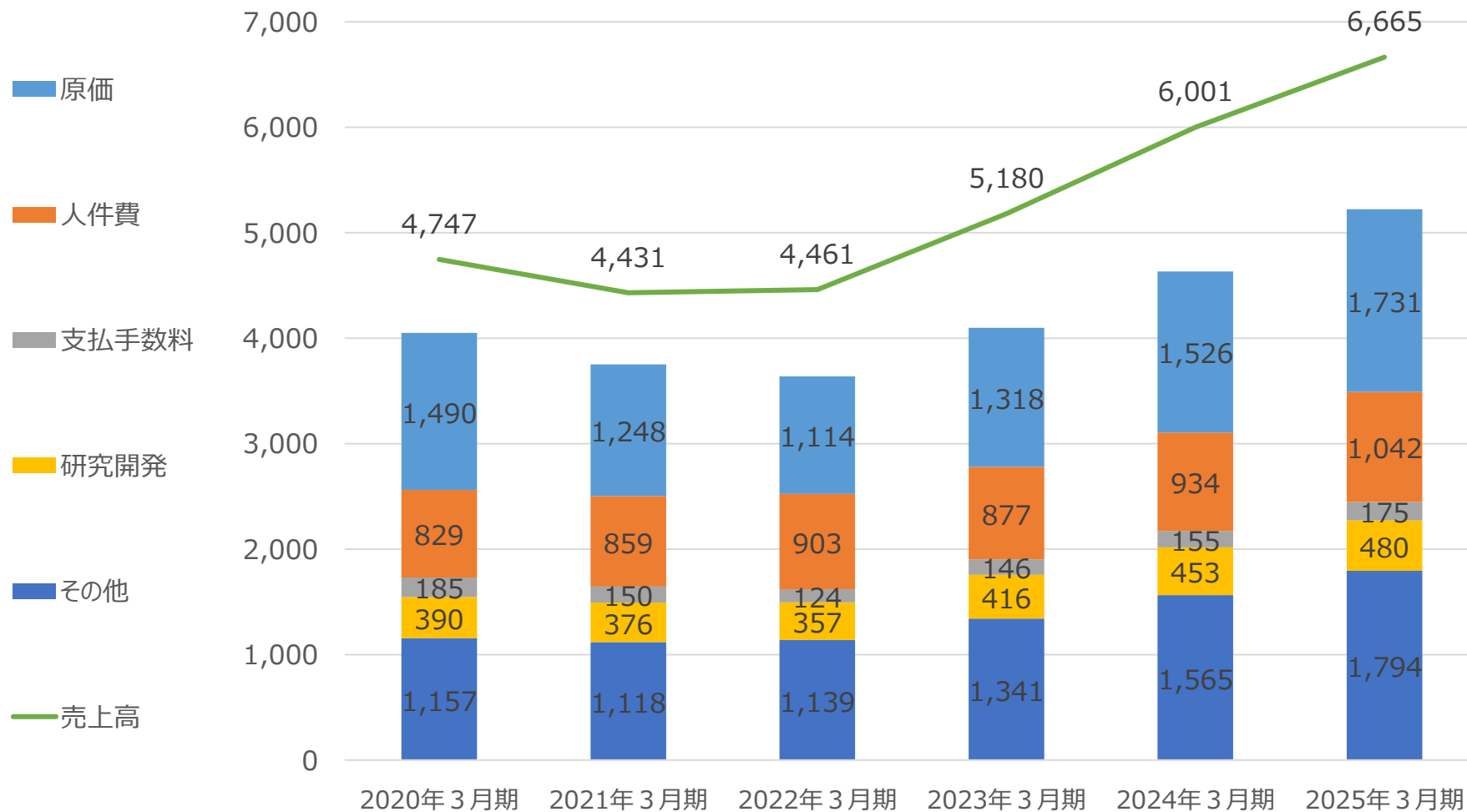
CTI事業部、VoXT事業部、医療事業部が増益し前年同期比で3.1%の増益

BSR2 (第二の成長エンジン) 赤字幅縮小

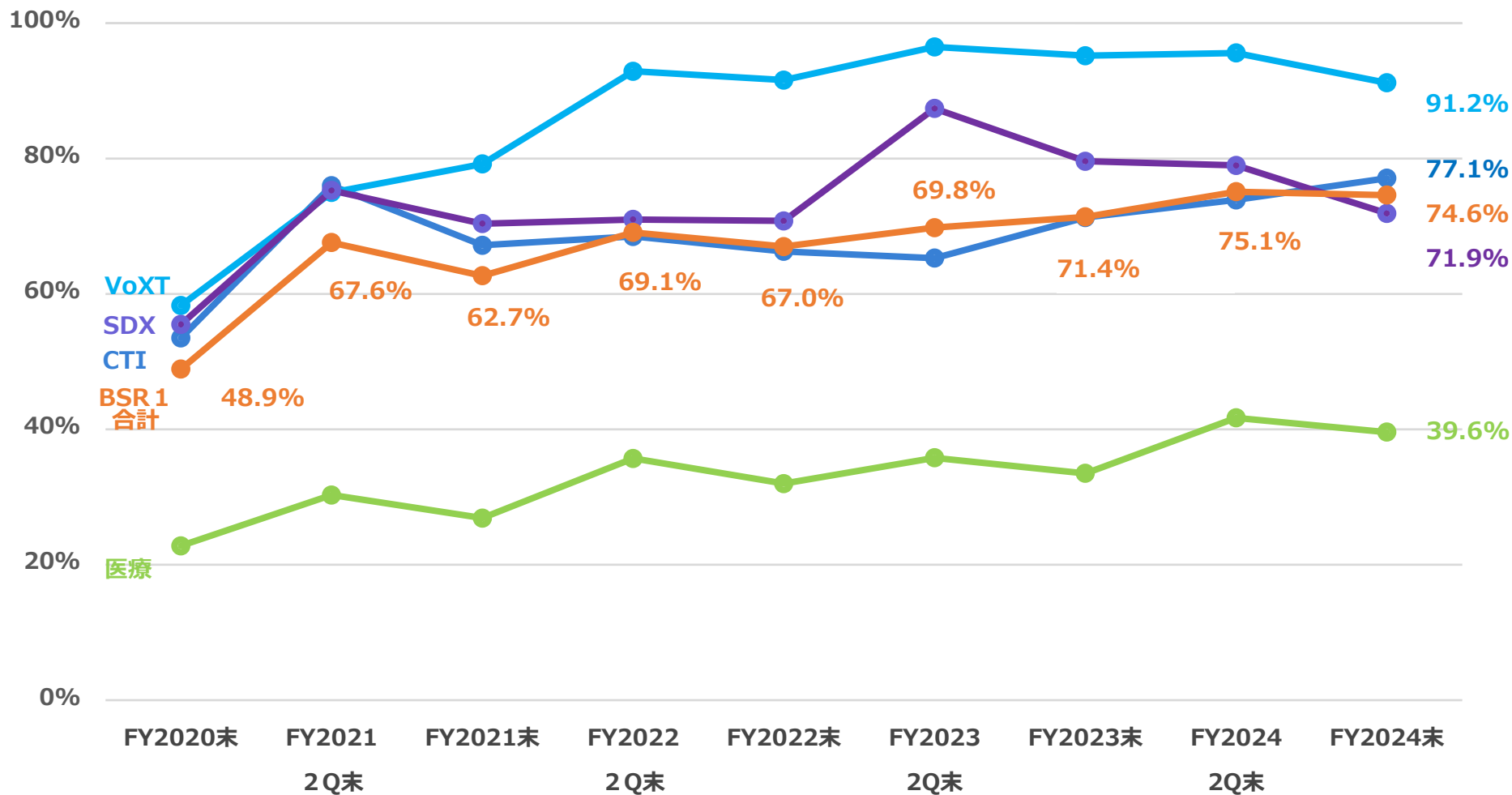
当社グループ全体では、前年同期比5.5%の増益で過去最高の営業利益

コスト構造

単位：百万円



ストック比率の推移 (BSR1)





2.市場環境

音声認識市場

2023年度から2028年度のクラウドサービス市場の
CAGRは19.5%

■ご参考

市場全体 **CAGR4.7%**

オンプレミス市場 **CAGR1.2%**

クラウドサービス市場の採用が広がる

出典: 合同会社ecarlate「音声認識市場動向 2025」

分野別の概況

コンタクトセンター（CTI事業部）

(参考) 当社CAGR 17.2%
(FY2022～FY2024)

- 人手不足、生産性向上、コンプライアンス、などから需要は引き続き旺盛と考えている
- 生成AIとの連携によるAI対話や要約、ボイススポットなど新しい需要が見込まれる

議事録（VoXT事業部）

(参考) 当社CAGR 22.6%
(FY2022～FY2024)

- 生産性向上から会議の文字化需要は引き続き旺盛と考えている
- 生成AIとの連携による、新しい需要が見込まれる

医療業界（医療事業部）

(参考) 当社CAGR 5.4%
(FY2022～FY2024)

- 病院でのDX化の加速から需要が高まると見込まれている
- 2024年度から開始された医師の働き方改革による、生産性向上への需要が高まっているものと考えている

建設業界（BDC本部）

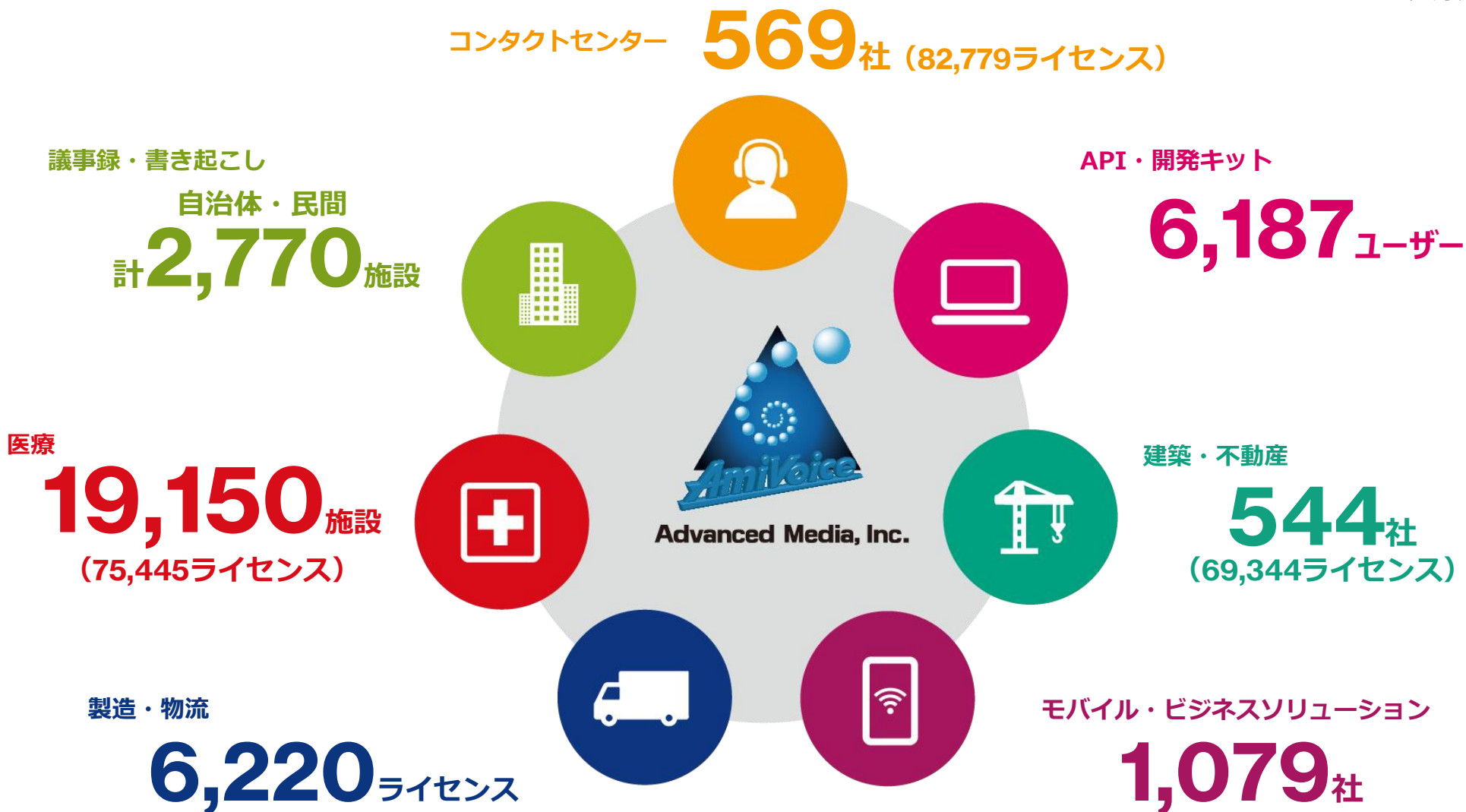
(参考) 当社CAGR 4.5%
(FY2022～FY2024)

- 人手不足、生産性向上などの背景から、建設DXの需要が旺盛
- 2024年度からの残業時間の上限規制により、需要が高まっているものと考えている

CAGR：当社実績

音声認識の市場開発のこれまで

※2025年3月現在



音声認識市場のシェア



※出典：合同会社 ecarlate 「音声認識市場動向 2025」



3.競争力の源泉

競争優位性①

AI音声認識 AmiVoice®



豊富な導入実績

2万件以上の利用実績に基づく、多様なビジネスシーンのデータを集積。豊富なソリューションをラインアップ。

高い認識率

常に最先端の技術を研究し、最新のディープラーニング技術を実装。業界随一の高い認識率を誇ります。

自然な話し言葉の認識を実現

発話スピードやイントネーションへ柔軟に対応。日常会話のような、自然で長い発話でも高い認識精度を実現します。

幅広い業種と専門用語に対応

幅広い業種の専門用語に対応する音声認識エンジン。個別カスタマイズも可能です。

競争優位性②

AI音声認識
AmiVoice®

AI音声認識マーケットをリードしていく**市場創造力**

各業界に精通している**パートナーとの強固な連携**

AI音声認識に関する知見・経験が豊富な**販売力**

AI音声認識に特化した**アプリケーション開発力**

AIなどを用いて価値を増幅させる**応用技術開発力**

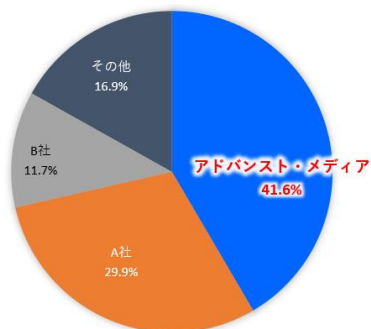
AI音声認識をアップデートし続ける**基礎技術開発力**

これらの競争優位性が音声認識市場でのトップシェアに繋がっている

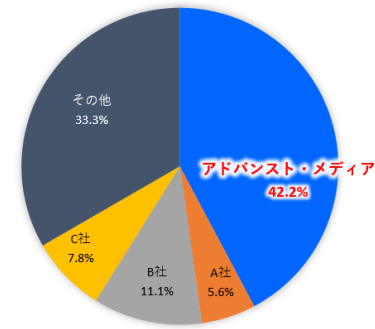


※出典：合同会社 ecarlate 「音声認識市場動向 2025」

音声認識クラウドサービス市場：
メーカー別市場占有率



音声認識ソフトウェア市場：
メーカー別市場占有率



※出典：合同会社 ecarlate
「音声認識市場動向2025」
2024年度見込み



4.事業計画

計画と実績の差異について

1-1. 連結：FY2024の計画と実績の差異について

(単位：百万円)

	計画	実績	差異	主な要因
売上高	7,000	6,665	△335	・プラス要因：BSR 1の全ての事業部で増収 ・マイナス要因：医療事業部、BDC本部、子会社のアミタイが予算未達
営業利益 営業利益率	1,470 21.0%	1,442 21.6%	△25 +0.6%	・売上高の未達 ・適切な販管費のコントロールにより、営業利益率は上昇

1-2. BSR1：FY2024の計画と実績の差異について

	計画	実績	差異	主な要因
売上高	6,000	5,945	△55	医療事業部、SDX事業部の未達
営業利益	1,318	1,520	+202	CTI事業部、VoXT事業部の利益率の高い案件の獲得

1-3. BSR2：FY2024の計画と実績の差異について

	計画	実績	差異	主な要因
売上高	860	762	△98	BDC本部、子会社アミタイの予算未達
営業利益	黒字化	△98	△98	子会社アミタイの赤字継続、BDC本部の赤字幅縮小

各施策の状況について

- ✓ 販売パートナーの強化
- ✓ 製品やサービスのプラットフォーム化

ユーザー数の効率的で、かつ、効果的な増大

- ✓ 開発パートナーの強化

API・SDKなどを介した領域特化の各AI音声認識アミボイスエンジンのユーザー数の増大

- ✓ 各種製品と生成AIとの連携

AI音声認識アミボイスにより機能を向上させたAI対話などの分野を強化

- ✓ 主にCTI事業部、VoXT事業部において、販売パートナーとの連携を強化し、製品導入を進めました。
- ✓ VoXT事業部において、スタンドアロン型でセキュアな環境下で利用できるAI音声認識文字起こし支援アプリケーション「ScribeAssist」と、クラウド型文字起こしサービス「ProVoXT」を統合した、議事録ソリューションの新プラットフォーム「VoXT One」をリリースしました。

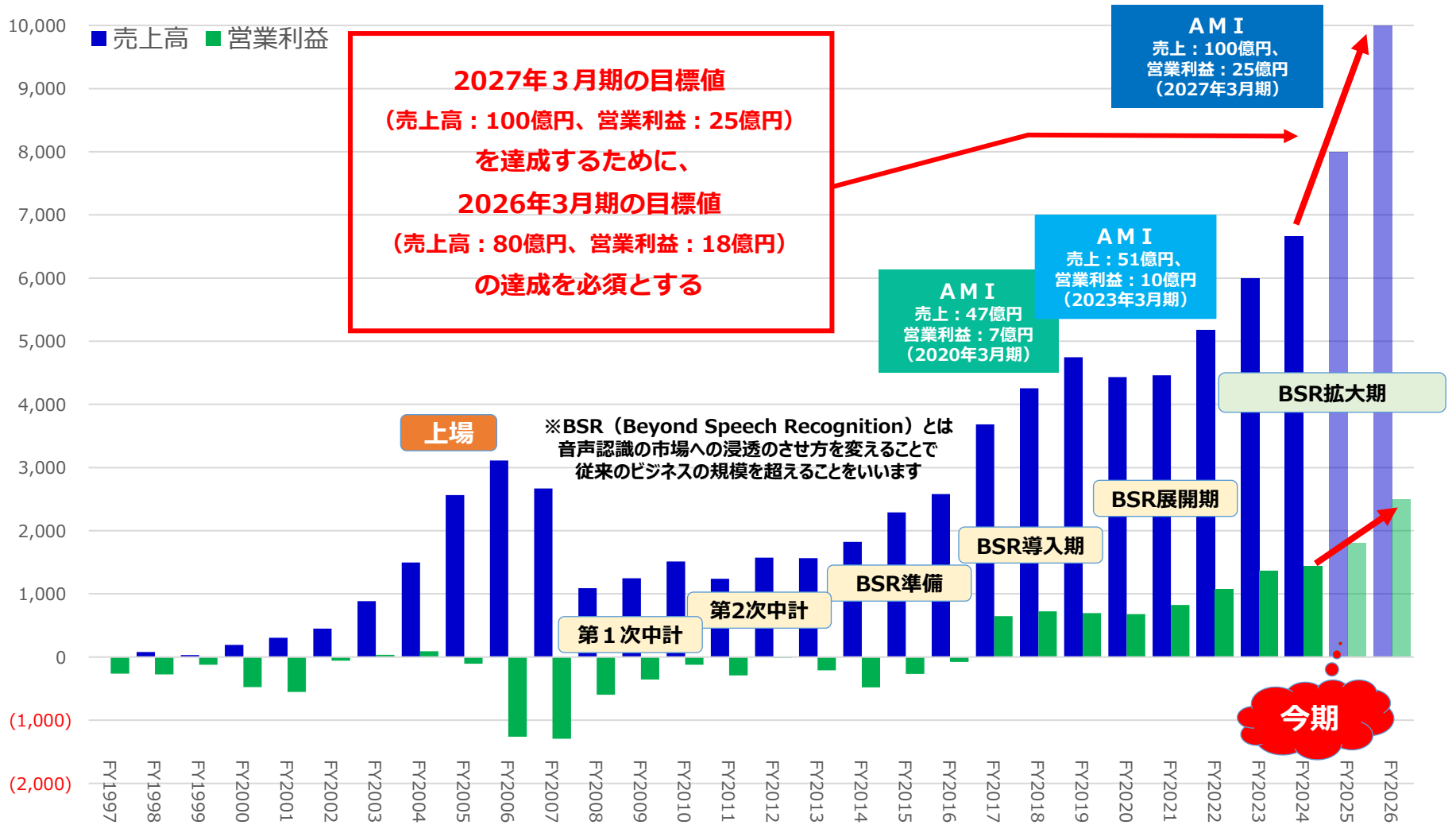
- ✓ 医療、製薬、保険、金融などの分野に特化したAI音声認識AmiVoice® APIをクラウド型で提供する「AmiVoice® CloudPlatform (ACP)」の利用企業数と利用時間数が増加しました。

領域特化型エンジンのユーザー数
2024年3月期末：3,804
2025年3月期末：6,187

- ✓ CTI事業部において、コンタクトセンター向けAI音声認識ソリューション「AmiVoice® Communication Suite」に外部生成AI連携機能を追加し、通話内容の要約やCRM（顧客管理システム）との連携など製品の性能の強化を進めました。
- ✓ VoXT事業部において、取手市と連携し生成AIを用いた議会答弁書案作成のサポートに特化した「AI議会答弁書作成支援システム」の試験導入を進めました。

AMIグループの業績推移とこれから

(単位：百万円)



今後の見通し（中期計画）

“AIを利用することで仕事の効率を高め
AIを相棒にすることで仕事を楽しくする”

AISH (AI Super Humanization) を実現する

BSR拡大期

（2024年3月期から2027年3月期）

2027年3月期の目標値

売上高：100億円

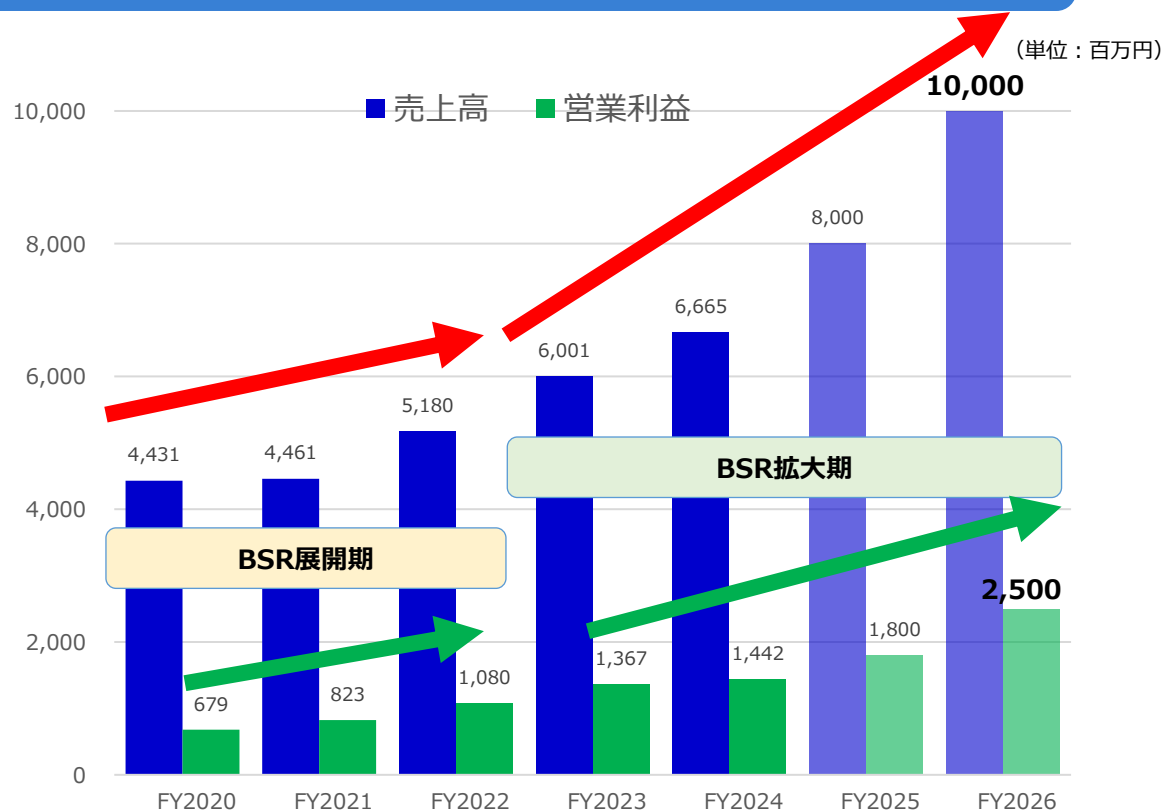
営業利益：25億円

そのために

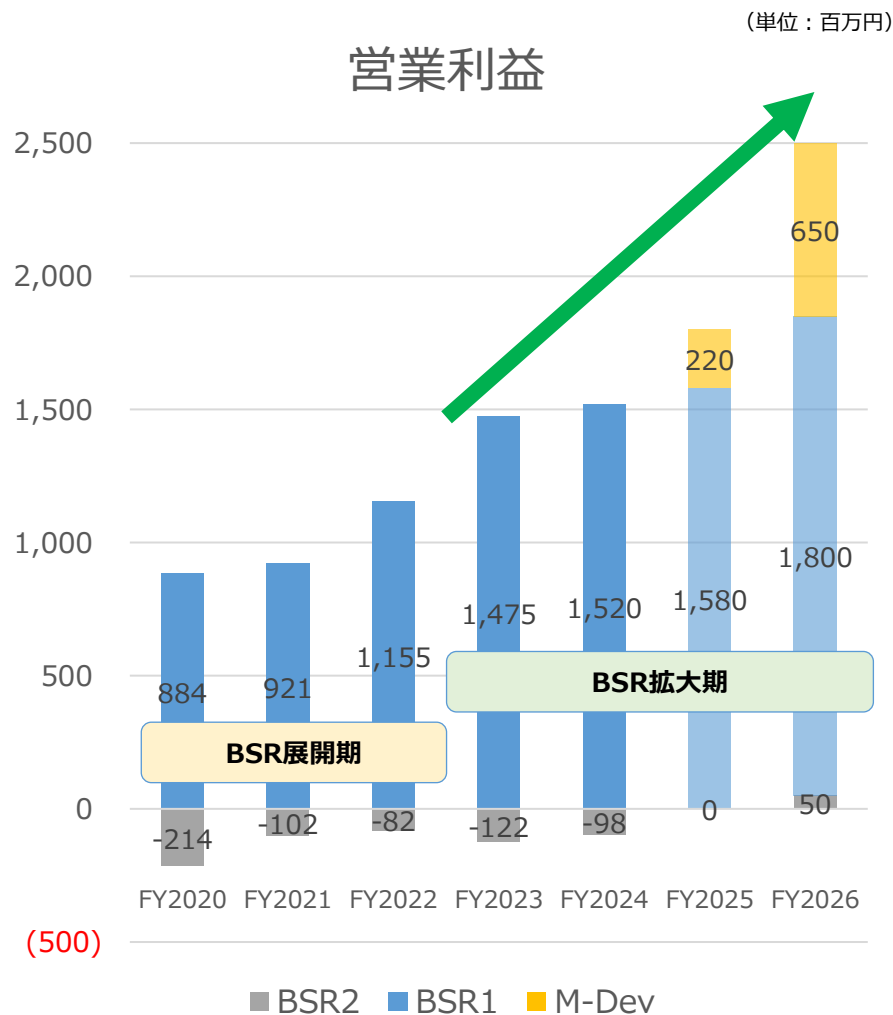
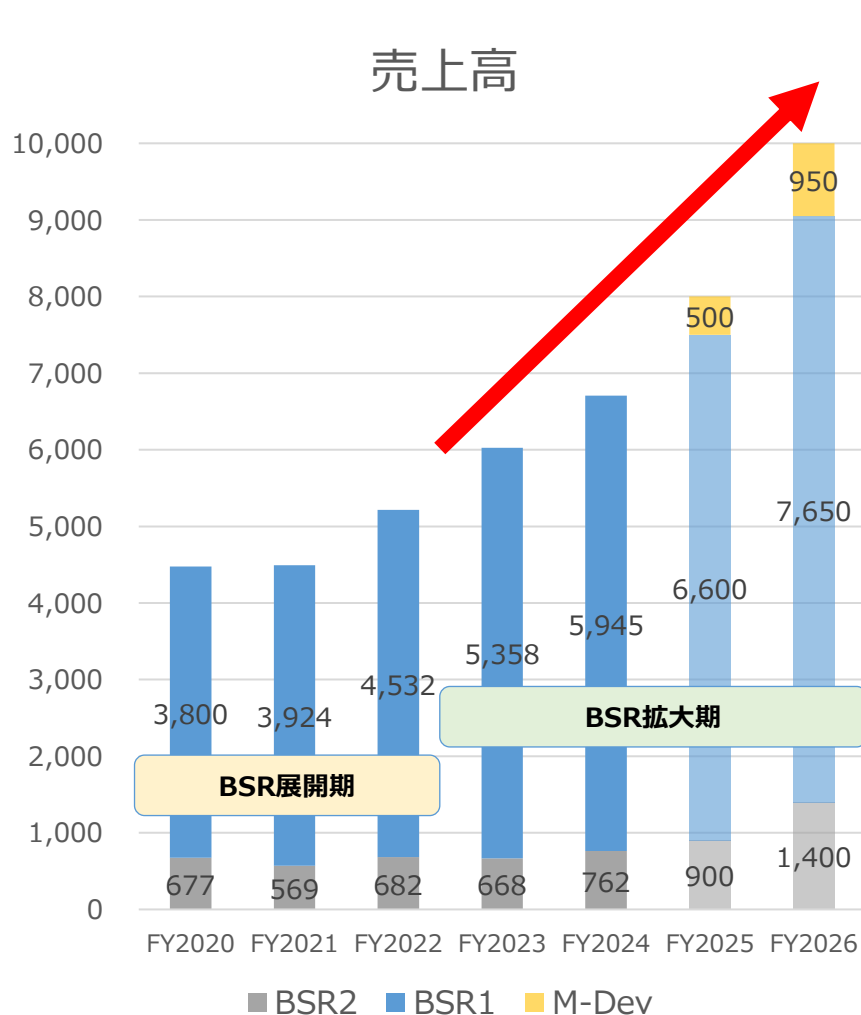
今期2026年3月期の目標値

（売上高：80億円、営業利益：18億円）

の達成を必須とする



売上高と営業利益の目標値を超える



※ M-Dev : 資金と時間を使い製品開発と市場開発を他社との連携で行う (M&Aを含む) <M-Dev (Market Develop) >

計画達成に向けた施策

**BSR拡大期の最終年度である
2027年3月期に売上高100億円、営業利益25億円を実現**

そのための施策

- その1. 音声認識市場開発の深化によるビジネスの拡大
- その2. プラットフォームビジネスの拡大
- その3. 新規サービスの市場投入

I. エムデブ (M-Dev) ※¹ によるビジネスの拡大

➤ これまでの音声認識の市場開発

既存の顧客のニーズを分析して製品を開発し
PoC※²などにより顕在化されたニーズを反映した製品として浸透 (マーケットイン)



➤ これからの音声認識の市場開発

顧客の潜在ニーズを顕在化するための開発や市場への浸透などを、
他社との連携により行い、市場開発の規模と速度を高める

M&Aも有力な手段

※¹ M-Dev (エムデブ : Market Development) : 資金と時間を使い製品開発と市場開発を他社との連携で行う (M&Aも含む)

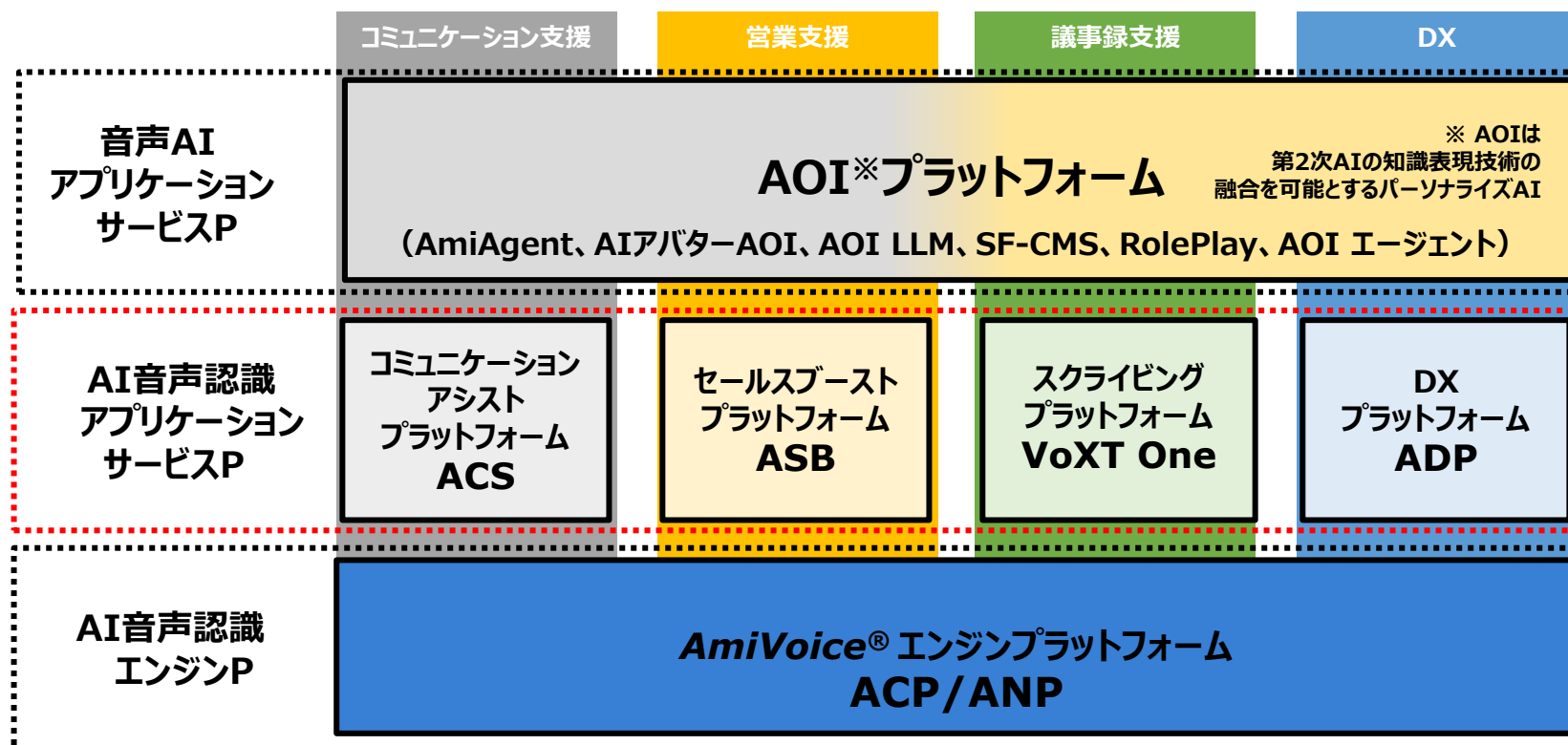
※² PoC (Proof of Concept) : 製品の期待効果の検証のために行われるプロセス

II. プラットフォームビジネスの拡大

➤ 新たな利用料モデル（特許取得済み）の市場導入

（サブスクの利用料を従量利用料に変換）

これまで、利用時間の問題で利用を断念していた利用者に使わせることや
スキリングを安価に行うことができ
AIを含むITアプリ/サービスの市場開発の促進を図ることができる



Ⅲ. 新規サービスの市場投入

➤ 「パーソナライズAIエージェント」 (特許取得済み)

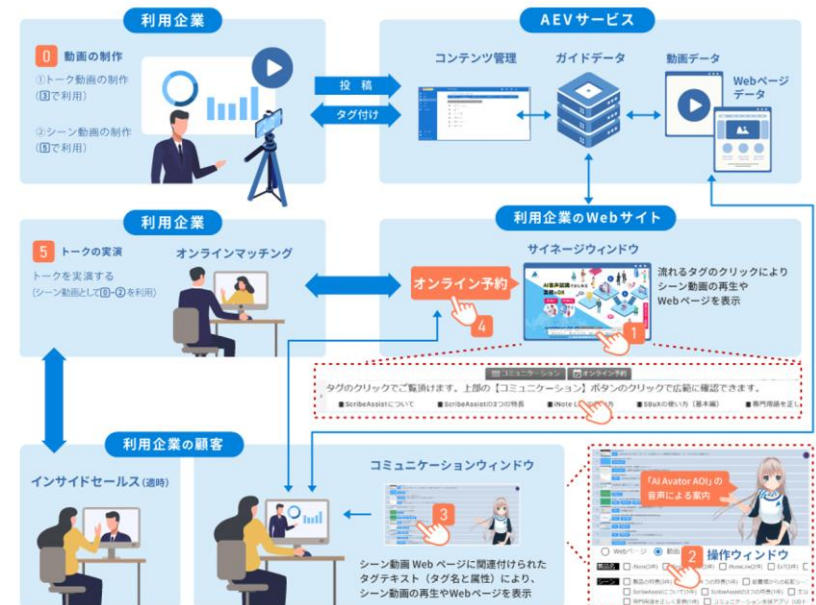
ITアプリケーションやサービスの利用における
キーボードやマウス操作時に、それまでに、
利用者が個別に行なった音声プロンプトの
知識ベースのカスタマイズといったパーソナライズにより、
作業の効率化や快適化ができる
キーボードやマウス操作の代行サービスを提供する



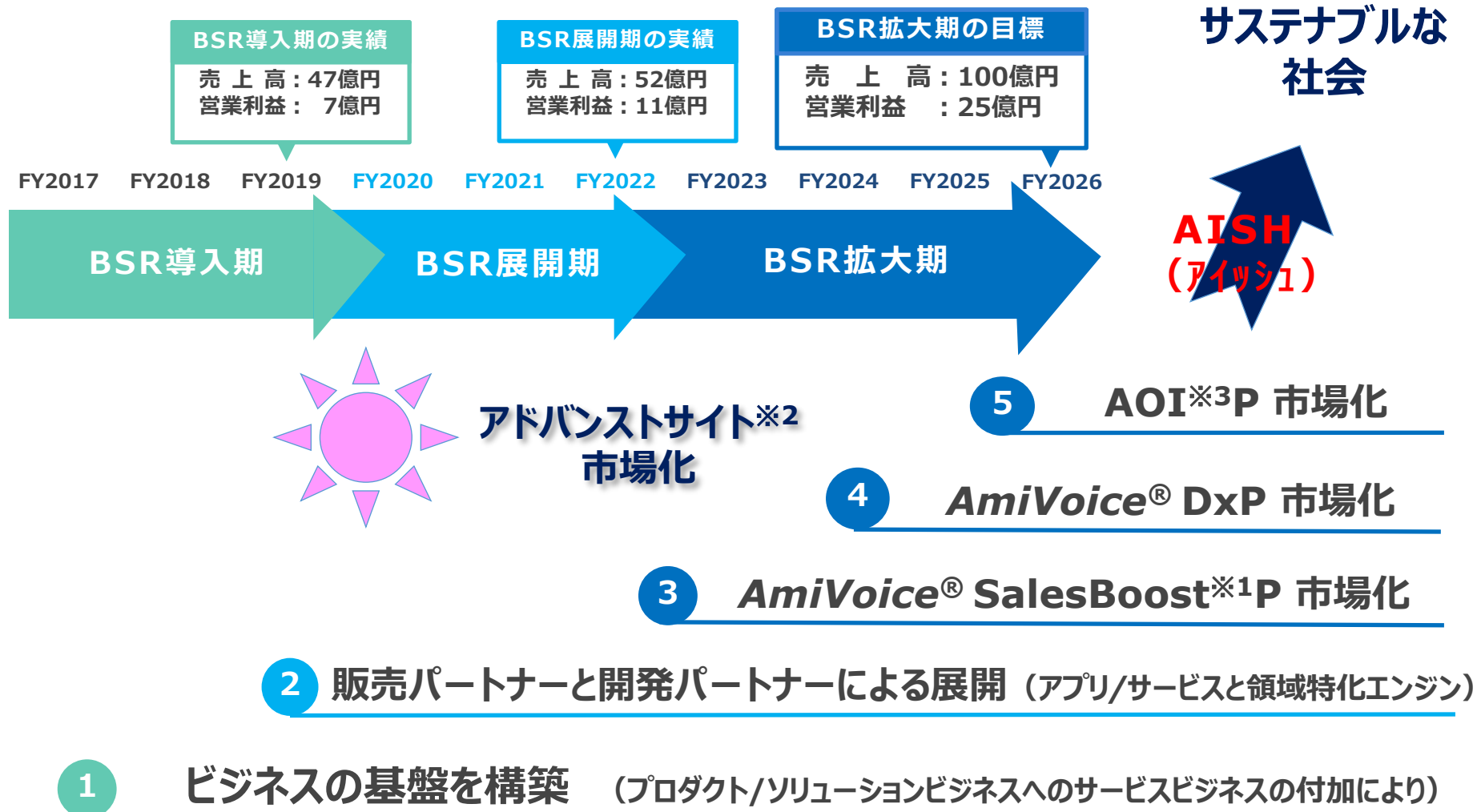
※ Webサイトの有するWebページや動画などのコンテンツに関連する①タグテキストを流すサイネージウィンドウ、②タグテキストを固定的に表示するコミュニケーションウィンドウ、そして、③表示内容を操作できる操作ウィンドウによる、Webサイトとその来訪者とのこれまでなかったコミュニケーションのことをいいます。

➤ 「アミボイス・イージー・ビューワー (AEV)」(特許取得済み)

Webサイトにタグテキスト(タグ名や属性)を
介したアドバンスドコミュニケーション※を導入し
Webサイトの来訪者が必要とする情報を
効率よく得ることができるサービスを提供する



中期計画 ～展開から拡大へ～



※1) AIスキリング、商談分析や要約などによる営業力強化プラットフォーム ※2) Webサイトをアドバンストサイトにシフトするサービス
※3) AOIはアミボイスに第2次AIの知識表現技術を融合させ仕事の効率化とAIを相棒とした仕事の快適化を可能にする技術



5. リスク情報

リスク情報

成長の実現や事業計画の遂行に重要な影響を与える可能性があるとして認識している主要なリスクは以下の通りです。その他のリスクについては、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

項目	発生可能性 ／時期	概要（抜粋）	対応策
音声認識市場開拓における市場展開から市場拡大が遅延すること	中／中長期	音声認識市場開拓を市場展開から市場拡大へと進めていきます。そのために新規ビジネスの導入により現行ビジネスを展開フェーズから拡大フェーズに移行させて行きますが、新規ビジネスの導入に想定以上の時間を要し遅延する可能性もあります。	「4. 事業計画」の中期計画・施策を進めるとともに、市場（外部環境）の変化に俊敏に対応してまいります。
業績の変動について	中／常時	音声認識市場開拓の市場展開から市場拡大への遅延、外部環境の変化等、当社が想定できない諸般の要因で、当社の事業が計画どおりに進捗しなかった場合には、想定している経営成績に影響する可能性があります。	「4. 事業計画」の中期計画・施策を進めるとともに、市場（外部環境）の変化に俊敏に対応してまいります。
新製品及び新技術の開発	中／中長期	現在、音声認識の基礎的な開発は終了し、既に様々な商品を販売しておりますが、今後とも技術の革新と向上が必須です。当該開発に資金や時間が想定以上に必要となった場合、当社グループが想定する売上計画が達成できなくなり、先行的に支出された研究開発費等の回収が困難になった場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。	中期計画に対して、適切な研究開発費を設定するとともに、研究開発費の内訳について選択と集中をすることで適切にコントロールしてまいります。

リスク情報

項目	発生可能性 ／時期	内容（抜粋）	対応策
音声認識技術に代替する新技術の誕生	低／不明	音声認識技術に代わる新しいインターフェース等の誕生、普及により、当社の技術優位性がなくなる等、当社が明確な競争優位性を確保できなくなった場合には、当社グループの経営に影響を与える可能性があります。	音声認識技術に関連する技術動向を、基礎技術部門でフォローし続けるとともに、当社も様々な新技術に対する研究・開発を進めてまいります。
競合他社について	中／不明	現時点では当社の製品は、国内外の競合他社の製品と差別化されると考えておりますが、将来的に高い技術力および開発力を有する競合企業が出現する可能性は否定できず、競争の激化によって当社の優位性が失われた場合、また、競合他社が他の有望な音声認識市場を創造開拓し、当社グループが後塵を拝した場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。	音声認識技術に必要な音声や言語のデータの収集をし続けるとともに、技術革新をし続け、競争力の維持をし続けてまいります。 と同時に、他社の技術レベルを常に把握し、部分的に劣っている箇所のキャッチアップを常にしてまいります。

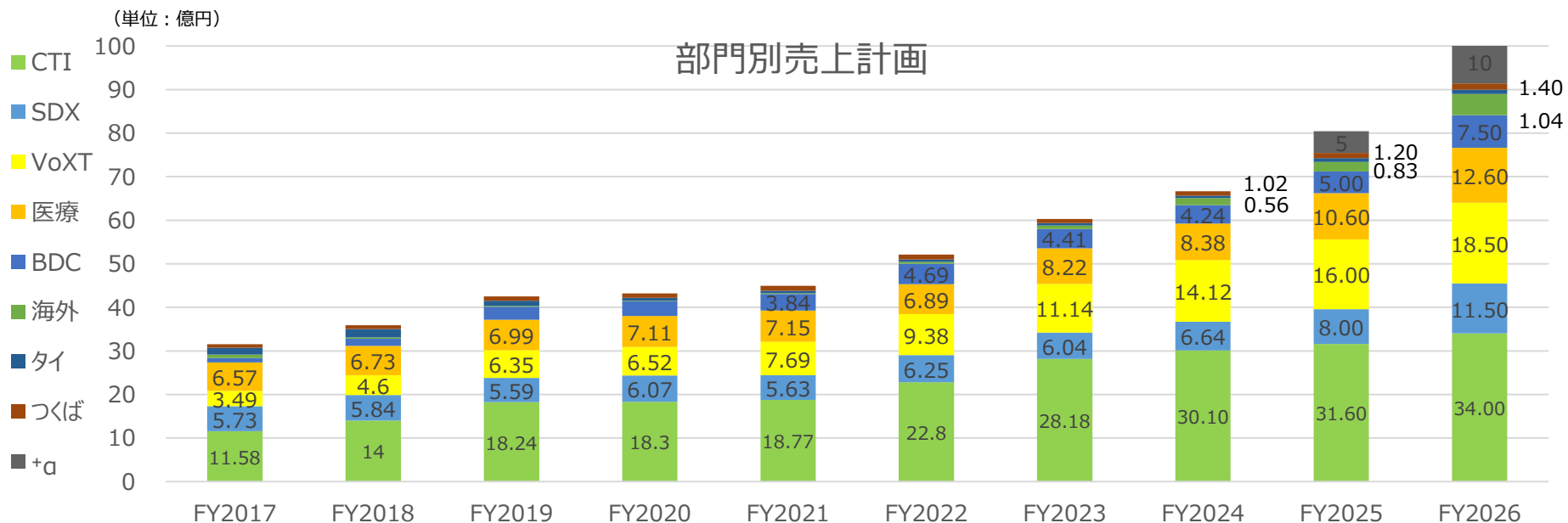
注) 「5. リスク情報」については、当社株式の投資に関する全てのリスクを網羅したものではありません。

- 次回の本資料の開示は、2026年6月を予定しております。
- 本開示には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。



参考資料

部門別売上計画



売上	BSR1					BSR2					M-Dev	合計
	CTI	SDX	VoXT	医療	小計	BDC	海外	タイ	つくば	小計	(調整含む)	
FY2020	18.30	6.07	6.52	7.11	38.00	3.37	0.17	0.67	0.96	6.77	-	44.77
FY2021	18.77	5.63	7.69	7.15	39.24	3.84	0.20	0.54	1.11	5.69	-	44.93
FY2022	22.80	6.25	9.38	6.89	45.32	4.69	0.41	0.56	1.16	6.82	(0.34)	51.80
FY2023	28.18	6.04	11.14	8.22	53.58	4.41	0.77	0.59	0.91	6.68	(0.24)	60.02
FY2024	30.10	6.64	14.12	8.38	59.24	4.24	1.60	0.56	1.02	7.42	0.00	66.66
FY2025	31.60	8.00	16.00	10.60	66.20	5.00	2.20	0.83	1.20	9.23	5.00	80.43
FY2026	34.00	11.50	18.50	12.60	76.60	7.50	4.85	1.04	1.40	14.79	10.00	101.39

※ +a : M&Aなどを含む新規ビジネスによるプラス貢献